

大成女子高等学校との連携事業について

7月7日(水)よりプロジェクト始動

笠間市では、大成女子高等学校と連携し、新たな商品開発のプロジェクトを始動します。このプロジェクトは、大成女子高等学校「地域デザイン」の授業の一環として、笠間市の特産品を使った商品開発に取り組むものです。開発された商品については、本年9月16日に開業する道の駅かさまのオリジナル商品として発売を予定しています。(商品の発売は令和4年度を予定)プロジェクトの始動として、生徒と笠間市長の面会及び市内のフィールドワークを実施します。



道の駅かさま完成予想図

◆大成女子高等学校「地域デザイン」とは

将来の自分の役割や進路、身につけたい能力に合わせ、社会と関わりながら学ぶ「キャリアデザインⅡ・B」の授業の一環として行われており、高校生が地域の魅力を再発見し、その魅力を伝える商品づくりを目指すことを目的に、2015年4月より始まりました。授業にあたっては、高校生に対してイノベーション教育を行う団体「一般社団法人 i.club」の指導を受けており、これまでに、「ほしいもグラノーラ」「カルウメヤキ」「梅こしょう」「Wこんにゃく釜めし」など、高校生ならではの視点で様々な商品開発を行っています。

(いばらきデザインセレクション3年連続受賞(2018～2020年))

今年度は25名の第2学年生徒が当該授業を選択しており、笠間市における新たなアイデアと魅力の再発見が期待できます。

◆笠間市内フィールドワークの実施

生徒のみなさんに笠間市を知っていただくため、市内でのフィールドワークを実施します。

【実施日】

令和3年7月7日(水)

※午前10時頃に笠間市役所本庁にて、笠間市長と面会予定

この件に関するお問い合わせ

笠間市役所 道の駅整備推進課 担当:石川

電話番号:0296-77-1101(内線240) ファックス番号:0296-77-1104 e-mail:michi@city.kasama.lg.jp